

大会申し合わせ事項

1. 大会適用規則

公認野球規則、全日本軟式野球連盟規定類、同取り決め事項及び大会特別規則を適用する。

2. 打順表の提出、攻守の決定

- (1) 試合会場に到着後、速やかに打順表 4 通を本部に提出し登録原簿との照合を受けた後、試合開始予定時刻の 30 分前に球審の立ち会いのもとに攻守を決定する。打順表への記入は、打順表提出時に球場にいない者は記入できない。なお、女子選手には背番号数字を丸で囲う。
- (2) 参加申込書兼選手登録書提出後の選手の変更・追加・背番号の変更は認めない。
- (3) 試合のベンチ入り人数は、監督 1 名、コーチ 2 名、選手 20 名以内、チーム代表者 1 名、スコアラー 1 名、マネージャー 1 名とする。ベンチ入り選手は 10 名以上を厳守すること。
- (4) ベンチは抽選番号の若いチームを 1 塁側とする。

3. 大会特別規定

- (1) 試合は 7 回戦とするが、90 分を過ぎたら新しいイニングには入らない。
(時間内の延長戦を認める)
- (2) 規定時間が経過したら回数に関係なく正式試合とする。
- (3) 得点差によるコールドゲームは、3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差とする。
但し決勝戦は除く。
- (4) 規定時間を終了して同点の場合は、引き続きタイブレーク方式を行う。2 回を完了しても決着しない場合は、抽選で勝敗を決定する。
タイブレーク方式は、無死満塁・継続打順で行う。(前回の最終打者を 1 塁走者とし、2 塁、3 塁の走者は順次前の打者とする。)

4. その他の取り決め事項

- (1) 試合前のシートロックは行わない。打順表交換後、会場内のブルペンで先発バッテリーに限り練習することを認める。捕手はマスク、スロートガード、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。
- (2) 会場内でのバットを使用する練習を禁止する。
- (3) ベンチ内への電子機器類(携帯電話、パソコン等)、携帯マイク及びカメラ・ビデオの持ち込みを禁止する。メガホンはベンチ内に 1 個に限り許可する。
- (4) 金属バット、ハイコンバット、ヘルメット等は(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用すること。
- (5) 攻撃時のみ手袋の使用を認める。
- (6) 選手、監督、コーチはユニフォーム、アンダーシャツ、スパイク等、全員同形・同色のものを使用すること。
ただし、スパイクにおいては基本の色が同色であればストライプや紐は異なる色でもよい。
代表者、スコアラー、マネージャーはスポーツに相応しい服装とするが、ユニフォームを着用する場合はチームと同一の服装(ユニホーム、アンダーシャツ、スパイク等)とし、ユニフォームの上着は監督・コーチと区別するため着用しない。
また、複数団合同チームのユニホームは、それぞれの団の物を使用することを認めるが、背番号の重複は認めない。
- (7) 捕手は危険防止のため(公財)全日本軟式野球連盟公認のマスク・スロートガード・レガース・プロテクター・SG マーク付きの捕手用ヘルメット及びファウルカップを着用すること。
- (8) 監督が 1 試合に投手の所へ行ける回数は 3 回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、2 イニングに 1 回とする。

- (9) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所に行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式を含む)となった場合は、2イニングに1回行くことが出来る。
野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチ等が行けば、双方1回として数える。逆の場合も同様とする。
- (10) 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。なお、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、2イニングに1回とする。
- (11) 投手の投球制限について、1日7イニングまでとする。ただし、タイブレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。なお3年生以下にあっては、1日5イニングまでとする。
- (12) 背番号は0番から99番とする。

5. 使用球

大会使用球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球C号とする。

6. 試合のスピード化に関する事項

- (1) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (2) 各回、先頭打者とベースコーチは、ミーティングに参加しないで直ちに所定の位置につくこと。
- (3) 捕手は、投球を受けたらその場から速やかに投手に返球すること。
- (4) 投手は、捕手からの返球を受けたら速やかに投手板について投球姿勢をとること。
- (5) 打者は、速やかに打者席に入り打撃姿勢をとること。
- (6) 次打者は、次打者席で低い姿勢で待機すること。
- (7) 打者は、打者席内でサインを見ること。
- (8) 走者は、ファウルボールが打たれたとき、駆け足で元の塁に戻り触れること。
- (9) 投手は、投球練習は初回5球、2回以降は3球とする。

7. 試合日程の変更について

- (1) 天候不順等で試合中止の判断は各試合会場で行うので、第1試合のチームは会場に集合する。
中止の連絡は支部長を通じて行うとともに協会ホームページにも記載する。
- (2) 日程変更の連絡も原則支部長を通じて行うとともに協会ホームページにも記載する。
- (3) 会場準備の必要ある場合、当日試合予定のチームは指定する時間に1名以上集合すること。
- (4) 大会期間中、学校行事(運動会・修学旅行。振替登校日・キャンプ)その他協会が認めた行事等は日程の変更を2日以内ですることが出来る。但しその場合でも大会日程の都合により変更出来ない場合があると共に授業参観日は当日最後の試合に組み込む場合がある。
- (5) 協会指定上部大会への出場の場合は上部大会日程を優先する。
- (6) 大会日程上の都合でダブルの試合になる場合がある。
- (7) 大会日程が終了しない場合上部大会派遣チームを抽選で決める場合がある。

8. その他

- (1) ファウルボールは、1塁側のものは1塁側ベンチ、3塁側のものは3塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側で処理する。ボールボーイ、バットボーイはヘルメット着用のこと。
- (2) 対戦した両チームの監督、コーチはグラウンド整備に協力すること。
- (3) 楽器等、鳴り物での応援は行わない。
- (4) ひばり球場以外ではメガホン等での応援は行わない。